

令和2年度 可児市下水道事業会計当初予算編成について

1 下水道事業の運営方針

「適正な生活排水処理の推進」

【経営基盤の強化】

- ・平成29年度から地方公営企業法を適用し、発生主義に基づく複式簿記による財務会計処理を行っているが、経営指標等の活用により経営成績及び財政状態を明らかにし、経営基盤の強化を図る。

【下水道施設の計画的な改修及び更新】

- ・長寿命化基本計画及び下水道事業経営戦略に基づく下水道施設の計画的な改修及び更新を行う。

【適正な維持管理】

- ・下水道事業経営戦略における投資財政計画に基づく下水道施設の適正な維持管理を行う。

2 令和2年度当初予算編成の基本方針

令和元年7月26日付け「令和2年度当初予算編成について」で示された、「令和2年度の市政の運営方針」と「令和2年度予算編成の基本方針」に基づき、重点事業点検報告書による検証(自己点検)を実施するとともに、重点事業調書を作成することで先を見据えた計画的な予算を編成します。

さらに下記重点事業を推進し、下水道事業の運営方針に定めるとおり、適正な生活排水処理の推進に取り組みます。

【重点事業】(可児市政4つの柱と重点事業の一つ「まち」の安全づくりへの貢献事業)

①長寿命化工事費

- ・マンホール蓋の改築により安全性の向上が図られる。
- ・重要なマンホールポンプ制御盤の改築により、施設の安定的な運転が図られる。

◎令和2年度実施事業

- ・マンホール蓋取替工事(虹ヶ丘、184箇所)

②雨水対策事業

計画的に雨水排水路を整備することにより、集中豪雨等による浸水被害を防ぎ、市民の生命及び財産を守る。

◎令和2年度実施事業

- ・下恵土官瀬雨水支線整備工事
- ・若葉台雨水排水路整備工事
- ・土田渡既設雨水管モルタル充填工事

3 重点事業

重点方針	まちの安全づくり			所属	水道部	下水道課				
総合計画	4 - 3 - (2)	総合戦略	- -	予算額	千円					
事業名	下水道事業の経営強化(下水道事業会計)			会計	下水道事業 (資本的支出)	款 1 項 1 目 1				
				事業期間	終期あり 平成 28 年度 ~ 令和 2 年度					
事業の目的・最終形のイメージ	民間開発団地から移管された管路施設のうちマンホール蓋を現在の基準を満たすものに取替え安全性を確保します。また、重要な幹線等に順ずる箇所に設置されたマンホールポンプの制御盤を取替え安定した施設とするため、長寿命化計画に基づき計画的に整備を進めます。									
4年後に実現したい姿	<ul style="list-style-type: none"> ・マンホール蓋の改築により安全性の向上を図ります。 ・マンホールポンプ制御盤の改築により、施設の安定的な運転を図ります。 									
対象年度に成るに目指す	マンホール蓋取替 184箇所	実施内容	<p>(R2年度実施内容)</p> <p>虹ヶ丘地区のマンホール蓋は現在の基準を満たしておらず、安全面において劣るため取替を進める。</p> <p>全体計画(特環含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンホール蓋取替 2,255箇所 ・マンホールポンプ制御盤取替 28基 令和2年度 ・マンホール蓋取替 184箇所 							
新規取組										
説明資料(写真・地図等)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>マンホール蓋取替(当初)</p>  <p>完了後</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>マンホールポンプ制御盤取替(当初)</p>  <p>完了後</p>  </div> </div>									
指標			達成状況	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
指標①	汚水マンホール蓋における長寿命化達成率		目標値	60.9%	80.2%	100.0%				
			結果	42.7%						
指標②	汚水マンホールポンプにおける長寿命化達成率		目標値	64.3%	85.7%	100.0%				
			結果	60.7%						
参考指標										

重点方針	まちの安全づくり			所属	建設 部 土木 課											
総合計画	4 - 2 - (2)	総合戦略	- -	予算額	千円											
事業名	雨水対策事業			会計	下水道事業 (資本的支出)	款	1	項	1	目 3						
				事業期間	継続 令和 年度 ~ 令和 年度											
事業の目的・最終形のイメージ	計画的に雨水排水路を整備することにより、集中豪雨等による浸水被害を防ぎ、市民の生命財産を守ります。															
4年後に実現したい姿	計画的に雨水排水路を整備することにより、集中豪雨等による浸水被害が減少し、豪雨に対する市民の不安が軽減しています。															
対象年度に成る結果を目指す	計画的な雨水排水路整備を実施します。			実施内容												
新規取組					・下恵土宮瀬雨水支線整備工事 ・若葉台雨水排水路整備工事 ・土田渡既設雨水管モルタル充填工事											
説明資料（写真・地図等）	 下恵土宮瀬雨水支線整備工事				 若葉台雨水排水整備工事											
	指標	達成状況	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6							
指標①	雨水幹線整備率	目標値	85.0%	88.0%	88.0%	88.0%	89.0%	90.0%	90.0%							
		結果	80.0%													
指標②		目標値														
		結果														
参考指標																